

天声人語（2）青春の百人一首

（朝日新聞）2015年1月15日 05時00分

一. 本文

日進月歩のネット時代に、若者たちは育つ。〈今までは「電話なんかで済ませるな」今では「せめて電話で話せ」と千葉の高1高橋誠哉（せいや）君は詠んだ。山形の高2佐藤萌（めい）さんは〈手のひらの中の小さな画面よりこっち見てよと言えぬ私は〉

▼毎年この時期に、東洋大学から「現代学生百人一首」が届く。今年は、足早に過ぎる青春を三十一文字（みそひともじ）で切り取った約5万5千首の応募があった

▼若き日は、学ぶべきときだ。〈「正義って何だろうね」とつぶやいて歴史の教科書めくつてる君〉高3加藤菜々。書籍離れが心配されるが〈心地よい紙の香りに包まれて活字の世界を私は旅する〉高2森静香

▼受験勉強の追い込み中か、ユーモラスに〈鷗外さんちょっと脳ミソお借りしたい三月中には返しますので〉高3生垣（いけがき）萌々子（ももこ）。〈「勉強は？」と聞かれる度（たび）に見せつける中指にあるふくらんだ皮フ〉中1小澤海地（かいち）。ペンだこは新聞記者にも懐かしい

▼自然災害を詠む歌も目立っていた。〈御嶽山（おんたけさん）噴火で気付く当たり前人も地球も生きていること〉高2小岩瑞季（みずき）。昨年夏に土石流で被災した地元からは〈ボランティア流した汗は広島の復興うながす希望のしずく〉中2望月晴（はる）



▼現実に触れて、生き方への迷いが深まる年頃でもあろう。〈将来の夢を問われて黙り込む幼い頃は三つも言えた〉高2田村璃咲（りさ）。だが、元気を出そう。〈書き初（ぞ）めの会心の作きめたのは諦めかけたラスト一枚〉中2近藤瑛理香（えりか）。チャレンジを続ける。だから開く扉もある。

二. 単語

1. 日進月歩	【にっしんげっぽ】⑤	日新月异。
2. 足早	【あしばや】◎	【形動】脚步快。
3. 活字	【かつじ】◎	活字；印刷品；用铅笔印刷的文字。
4. たこ	①	蛭皮。
5. 土石流	【どせきりゅう】③	泥石流。
6. うながす	③	催促；促使；推动。
7. 書き初め	【かきぞめ】◎	新春试笔。

三. ミニ文法コーナー

次の文の_____の言葉の意味に最も近いものをA～Cの中から選びなさい。

この言葉の意味は、あらためて説明するまでもありません。

- A いくら説明しても、分からないだろう
- B 説明されるまで待っている時間がない
- C もう説明しなくても、分かるだろう

正解は？

ヒント：

～までもない 意味：～する必要はない

四. 豆知識

你所不知道的和食礼仪



*上座・下座を気を付けるのはもちろんのこと、**座布団や敷居を踏むのもNG!**勝手に座布団に座るのもいけません。お相手に薦められてから座りましょう。

***ワサビはお醤油に溶かさない!**
お造りが出てきた場合、ワサビをお醤油に溶かしてはいけません!ワサビはお刺身に直接つけて、そのあとでお醤油をつけましょう。

***揚げ物は切らずにかじれ!**天ぷらなどの揚げ物は手前から食べましょう!

塩をつけて頂く場合は、盛られた塩に直接食べ物をつけるのはNGなんです。「少量を手にとってぱらぱら振りかける」というのが正しいマナーなんです。